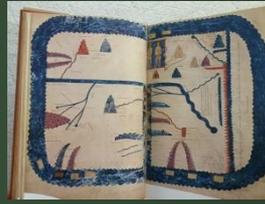
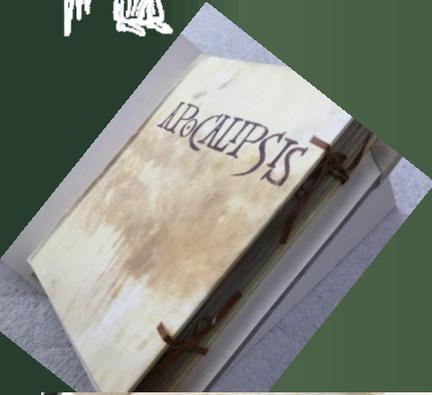




Library Liébana

9月度展示内容のお知らせ



(ジローナ写本から)

(カンズヴェル写本から)



(モーガン写本)

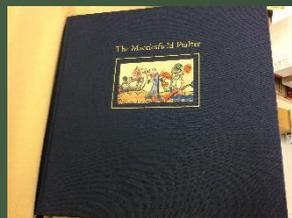
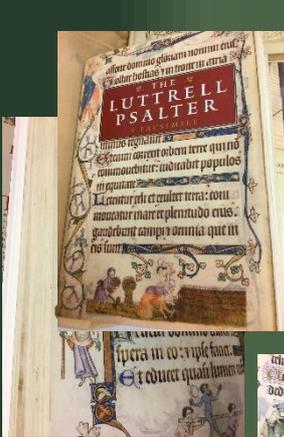
(マドリド写本)

モーガン写本とマドリド写本
両写本とも10世紀に制作された一番古い
写本です。



(ナバーラ写本から) (オスマ写本から)

(ベアトウス写本にみる世界地図) 中世ヨーロッパの
世界観を示す世界地図。よく見ると聞き覚え
のある地名があちらこちらに。



(トリーア黙示録写本)



(ヴァランシエンヌ黙示録写本)

13世紀初頭のイギリスで制作された2つの
詩編写本。両写本とも豪華な挿絵で埋め尽
くされています。
ラットレル詩編・・1320-40に制作
マックスフィールド詩編・・1330-1340に制作

9世紀初頭に作成された残存する最古
の挿絵付き黙示録写本として知られる
2冊の写本です。

- ・トリーア黙示録写本
- ・ヴァランシエンヌ黙示録写本

ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界と 中世彩色写本を紹介

ファクシミリ本とは：
オリジナル写本の大きさや色を再現。
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に
再現した複製本も多数展示しています。



愛知県豊田市西町5丁目5
VITS豊田タウン B1F
毎週日曜日 11:00~17:30
H.P.



9月の開館日(予定)
5日(日)、11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)、26日(日)
※コロナ感染対応で変更の場合があります

中世初期のイベリア半島のリエバナの修道士、ベアトウス(ベアトBeato ? -798)が「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。多くの写本は、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が興味を引きます。

これまでに発見されたベアトウス写本のうち、挿絵入りのものは29写本あり、そのうち完本の写本は22写本、断簡の写本が7写本あります。

本ライブラリーには完本22写本のうち19写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書き、製本様式や装丁などをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

【モーガン写本】

10世紀半ばころにスペイン北部、レオン州の修道院で制作された。マドリッド写本とともに最初期の彩色挿絵写本。写字・挿絵はマギウスが制作。後ろ書きに自著している。303葉残っており、もとは1冊であったが、今は2冊に分けて製本されている。挿絵の数は89点。モサラベ様式で描かれた挿絵はフレームに収められているものが大多数で、ベアトウス写本群の挿絵の描き方の基本となった画期的な写本。全頁大に加え見開きにわたる挿絵もある。

アメリカ ニューヨークのモーガン図書館が所蔵。

【マドリッド写本】

モーガン写本同様10世紀半ばころ(930-950頃)にレオン州で制作されたと推定。こちらは写字生の名前は不明。損傷・脱落が多く141葉の羊皮紙に27点の挿絵が残っている。モーガン写本と違い挿絵にフレームがない描かれ方をしている。

マドリッドの国立図書館が所蔵。

【トリーア黙示録写本】

9世紀初期(800年頃)制作された、挿絵入り黙示録写本で一番古い残存する写本。75葉の羊皮紙に74の挿絵が全頁大でカロリング朝様式で描かれています。

テキストはラテン語で書かれていますが、11世紀終わり頃に多数のテキストが書き直されています。

フランス国境に近いドイツのTrier市立図書館所蔵。

【バランシエンヌ黙示録写本】

9世紀初頭(第1四半期)にフランスあるいはドイツで制作されたカロリングスタイルの黙示録写本。

42葉の羊皮紙に38の全頁大挿し絵が描かれています。

フランス北部のValenciennes市立図書館所蔵。

【世界地図】

黙示録を含めた聖書には出てこない「世界地図」がなぜ描かれているのか。これは註解に挿入された「語源論」などを図像化したものだそうです。

これらの地図にはイスラーム圏の都市への言及がないことから、「現実の世界」ではなく「キリスト教徒にとってあるべき世界の世界」が描かれているといえるが、その一方、レコンキスタによって新たにキリスト教圏に組み入れられた都市が次々に付け加えられる点に現実世界の反映を認めることもできる。

久米順子「千年紀を超えて-レコンキスタの進展と盛期中世のベアトウス写本」等より

完本22写本のうち14写本に世界地図が描かれています。またこのような世界地図をOT図(またはTO図)と呼びます。

【ラットレル詩編】

1325年~1340年にイギリス北部の裕福な土地所有者ラットレル卿によって作成された350×245の大きさで309葉の羊皮紙に描かれた大部の写本。ほぼすべてのページが挿絵で装飾されている。

中世の生活(農業、狩猟、娯楽、音楽制作)が描かれ、14世紀の日常生活が窺われるとともに、人間の頭、動物/魚/鳥の体、植物の尾を組み合わせた想像上のハイブリッド怪物が多数描かれています。

大英図書館所蔵。

【マックルズフィールド詩編】

1330-1340年頃のイギリス東部で制作された写本で、豪華に彩色されています。大きさは170×108mmという小型の縦長ですが、252葉の羊皮紙に美しく彩色され、ラットレル詩編同様に挿絵にはハイブリッド怪物とともに擬人化された動物や中世の生活が描かれています。

最後の所有者、マックルズフィールド伯爵にちなんで命名されています。

イギリスのFitzwilliam博物館所蔵。